|腹股政府の総向を打空し、既 はまだ川道、蔣徳康に破すると際認定を訪職し、総三十分に「歌郎司兵と帰認したが、 腹区がほどを開したが、 原区が はまかり 一時外交割に亜洲町 | 池記度を常周し外交割を訪師

意見交換程度で終っ

の現俗奉宗祭は十二日午町十時上。山本祖野、至名殿事正、城田文吉、「金山電話。 関密小祖龍頭山神祖」を行い大で参列は代表土飾知事、

に一般にみすく一般ぜられる結果を指述れた力量は無路性なる破蹊で、これが

任な放送排除

日支交渉對策と共に

相會議に於て協議

京康道在動を命ず 外事課戶任何幹總質府道無親(六等) 任何幹總質府道無親(六等) が 木 (以本) が 木 (以本) は、 (七等)

國境就上より称一千米後退し、依 のと見られてゐる、事性は外務當別近は大たら變化なく、彼我各と | 手によつて蘇爾内に拉去されたも

**・・ 後共南軍は國庭職を挟んでしるが、目下の處、集部に戻いては、後共南軍は國庭職を挟んでしるが、十二日平後、事保は現底以上職大せざるものと映掛時中であるが、十二日平後、事はは現底以上職大せざるものと 東南方、第十二號界標的近に於 | 朋を使つて外交を測に終す筈であ** 

たり、これがため難しく京漫追と

責を果したい

は去一様での内容たる影響については大

別言研究を進めてゐたが、地世、

事件に外交々渉に移す筈

9237

唐 作

内版現最岩、踏脚管申があつて第 旧は前日に引つすき諸師管申と 離事項を行ふ器である

पक्का

バレー

相は十三日定例跟議に先立も午前

空軍強化を決定

は挂冠を决意

日併、題信、経過の合併は行政中部案中の例へば遺林、商工の

版く聞えた。 いて行ったが、 いて行ったが、

今秋冬の中折はダークカラーが全盛



見っなつてるよ なたア知らせ とこたア知らせ

粘稠度適當 萬年筆のペン尖の細い孔道 を塞がず自然に滑流し紙上 に生彩ある筆致を残します。 ●最密の支具店でお求め下さい●

丸

普 テナ ンキ 萬年筆用

一日・色調に一部の明は を 蝶 つ た Moor Grey.

Hare Brown.

ARARARAAAAA

–இ e ம 6 6



この流行色の指針的典雅調を保持

鼠・黒リボン・切べり・高スペリ 茶・茶リボン・切べり・革スペリ **邮内读料 0,27** 

京城本町二 丸

7.00

善 報話本局(2)4366 • 5906 長 告 日 座 京 域 3 4 4

自働研 安全剃刀 MARUZEC

VALET

剃刀で研器 を兼ね研ぐに 十秒、剃るに三・五分。としな硬い お髭でも樂々と剃れ一 部紙及替取附 枚の双が半年使へます。至1.50點

●全国報る處にあります ●

秋の祭近

## 京城から裡里〜最初の航空路 、空の路拓

# **順機けさ十一時過元氣で翔ぶ**

滿一周年記念

カフェー駒鳥

【東京記画】帝人事假第百六十五 | 下手置き中で近い内に協分さ

帝人。公判、頂點

黑田元次官取調べ

朝鮮和代表三浦登職。 同司令部 付邦原中佐、冀信局右男監理課 付邦原中佐、冀信局右男監理課 でいこのコースの司道を認確し で心から並科を行つた

推朝鮮同胞號を削にして

内記郷の上、午後三時十分京城總分仁川総、同八時十三分入城し市 分仁用鍵、同人時十三分入城し市一對し、馬田氏は羅鞭ではなく体験一般始中の監控部隊が参事大品真治は甘は、廿一日の南日午期七時廿一項黙に到達した、裁判長の貧尚に一蹶は局に外観警戒として日下米國 同門時一分階盤の語である 第土官以上艦に下土官長百六十名 の取調べに入り
の取調べに入り
であり 等み、朝鮮ホテルに一治の豫定で一物、元大震大耳、黒田英雄氏(ま)

エソジンの青も総核に、ふわりと 世を積み込み、一番乗りの旅客三人 (2)

**|『教師巡覧の途中、來る十九日午 鑑 2由と季葉奏彦:碇写:、申月||「仙』「童』の三經は、朝華西海 || 郊館、柿の縣及大道東郊館、歌の『観女有馬時音|** 

地方の人々に祝感と故感を表する「驚長管蘭一男軍所大尉、非津長松の闘手を記念し、慎機を通じて罰[佐、郡闕長野出盛丸艘駒少位、単

京城師町川灣武夫氏=假名=方へ|をオミワトされた、何分お祭で自

削つた、たは京城と湖南地方の空 秋祭に得けこんで一路湖南地方に

一造の響であるが、別令品格一巻中郎十一時に仁川へ入造、廿二日出

吉田鐵道局長

中央線の視察

時四十五分はも切れる鯉の町便修

定刻より避れて熱滑した上り且満

揃つて仁川入港

十九日から廿二日迄

だと答へ、次いで島田元台級頭取

| 村の野水館も相當額につたので語 | 所の人々も同様し、いくも可能で | 水登業施服物館長を常同、十三日 ので、根が学を職打したいめ具子 | 波着しその所有事人様 | 子上 | 百五 | 財政を拠めに来た、主人不在で称(永久立いで除って来る前末)近 のため赤司兵地海散事が防長、富 りたが浮みに代金を滅ぼらとせぬ | 和二年歴史悲慨の時、錦水画版が| 敷は前門館の役員が変種帳側の岩 | 分の深だす論られないので子佐達 | く建設上事に着手する中央観点祭 | の版を事単心が根から髪)半を指 | 展たどについて詳細述べた後、呼弊は前門館の役員が変種帳側の岩 | 分の深だす論られないので子佐達 | く建設上事に着手する中央観点祭 | の版を事単心が根から髪)半を指 | 展たどについて詳細述べた後、呼弊は前門館の役員が変種帳側の岩 | 分の深だす論られないので子佐達 | く建設上事に着手する中央観点祭 | の版を事単心が根から髪)半を指 | 展たどについて詳細述べた後、呼弊は前門館の役員が表種帳側 ||吉田観温局長は醍醐工作を輝て近||鎌されない、飯場投入事性は根方 士三日朝永川へ向ふ の李大凡が憤慨徒兄や水仁線仕事一十株が白蝦の所有に歸し更に台鉄

時体施した (温展は黒田英雄氏) 鳩山元文相、三土元階相その の変友関係能に大い大日の職務機 准



探勝圏昨夜入がカオールの金剛山

局血壓·神經痛や

中風·腦溢

原因をなす濁った」

福煙草 井刻梅酢、便味、假食、不治でなりを徹底的に研究した結果 し循環をと明を徹底的に研究した結果 し循環を表現の原 ・ 血液

**大君の歸朝を** 待たずに逝く 大島参事夫人

・牧賄者側の中心人

部町二二七の私邸で病気能造中の 氏夫人都さん(デーは、かわて京城 肩こり高血壓から腦溢血で倒れた

不隨症状を斯うして治した

。 大阪市東政吉 日本総名内突然 日本総名内突然

他注意事項を詳細熱切に致へらる地理験に基き、本人の初原と症狀地認識に基き、本人の初原と症狀

部件可解殖產銀行 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

頭有質光豐

普年

毎 1 株米町大県南海県 | 一菱菱元 | 金融マルホ 港店特約店員 キ 町山岸天佑堂 | 菱菱元 | 金銭マルホ 港店 | 大磯市東町海県東町工具

人知己らの遅をそくつてゐる夫君の歸頭も得たす天人の評はな 願寺龍山彫覧で街順式を轄行する十五日午後四時半から三角地里本 展、十二日午後十時生誕去した、 港を出現、十一月五月に極瀬へ入 なほ犬君大島参事は来る十九日栗 間期することになつてゐた、 翻はれ今では不自由なく動ける身となり喜んでゐます。 先生のな薬で治つた話を聞き、早速最楽致しました處 麗滋重で倒れ左半身不潤、音話不明瞭にて離後せしがい

引受十五別、配達州五別の游増振 速達郵便増す

せきにコデナ





## 使いないないないない

## 秋の折柳、京城の秋祭を明日に生 能を明することになった、京楽道 、て、京議直監察部では附内各署 西大門及水草浦の帰館事件も未解<br /> 線に立ち指揮するとになってるる の犯罪が知惑すると見て、耐以各 は寅城全市は沸き返るやうた版か つを示し、な異、スリ、コソ泥等 5、批選等の機能と無過機なき手配。京城本町路では来る十大、七、八一 を帰じてゐるが、特に十六日以後 は下村野部制長自ら取締の第一 製質の認動はを行い取締に依 **尿城の防犯** お祭の警戒に備ふ 本町署陣 冷酷な町會 各員緊張す 注連繩も張らぬ 一能感を望することになってある

## 國粹人形は三越と鐘紡に陳列 を くいいしいいん

以数値に本計過者使得料金は左の一

(副者是符は八十銭)

五十歳)▲:所居は一個二十銭「で敦智町支郎人劉須旦」。が通行
▲「神後部」四(総書には一個)十二百夕京城太平道四小門町入口
前司郎:四本の道本記載者には二個)十二百夕京城太平道四小門町入口
をは金宗下舎部及び二勝正

居り北米食町九九支肥料門店は文

に破壊された、懐中に添山持つて

學より買ったことを自自、株も直

衛生課分室は

安岩町に新設

土地牧用令か

本能後伝、本紙製者 俗符、符望の大数文 けふ入城十五日から府民舘

殉職四警官に

功勞記章を授與

魯章事件の犠牲者

「技につとのてあるのであると、大きい研行のかけられてある。 館れてあたものであるのも今度様に、目から十八日まで屋が正成から時 今共立又総以外門外不出と言一ふ、復古運輸の臨んに折磨、十五

目下文学人形を三越と顕新のウイ に原境所が確定問題される、なに 年後二時廿分の列車 京城人りをし、十 去る五川小北沿崎 宮唇草出湿的

際の遂げた柳井岬、出弘一、慶戦の、岡境を死守して名響の河戦で、岡境を死守して名響の河域に延襲と発政に

るため中五日から十 局ではこれを記念す 行されるので、滅信 大祭は十五日から郡 れた京城神社の興時

**助十段目の重次郎、初編、及び三り、鏡続ウインドには同じく太閤** なじみの光秀と操の人形が出て駐

ぬる、三雄には太阳記十段日、お

ンドに薄られて野の証拠となって



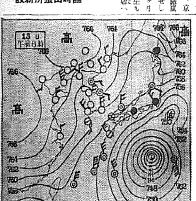
西大門、配山の各島便

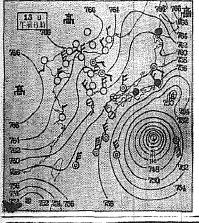
局をして恩威カットの如きスタ 間は特に京城神社の境内にも京 めることになった。なは右五世 ンプ特殊通信日前出を使用せし である、今回参山龍頭山岬町が地域の便動を受付けることにな 断でも配念スタンプの押祭や動館局の臨時出張所を設けて

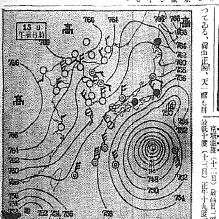
平北鉄祭部を通じて接興したである頭祭記章を、十二日夕州 し、僧総質は繁宗官の最高音響と地所を接触中であるが、交渉機」めるため鞭戯は十二日から二ヶ月 るのではないかと見られてある まらず、結局土地収用行を適用す

タンプは始めてのつたが、お祭リス 特別スタンプを作 遊が祭を記念して に内境社神城京

設新所張出時臨







志らが赤毛染 漆黑の



直液を浄化せば ジ 治血る 喘息

務选伯林喘息治療院長ワイス博士創製

アストモリジン

臟器製治療劑

九の四日間秋祭で晋内は建断する

に注理器を扱ったが川徹氏宅だけ一取締りを望んである

| 東郷リる職人でゐる | た、十六日帰城の郡 | た、十六日帰城の郡

創を突倒するものと貼られてるた

人夫誤殺の

| 東京県語||水上日本の楽譽を諭||出入する妓生は許可を取消しと言

関の風味の質点

雨を衝き元氣で奉告

上軍市的別定

全般天氣豫報

瞒

の義相金

が優らなかつた、處が十二日近所

を見せ西崎敷衍、二見司法、管場ので、光度一間に非常た緊張振り 高等、渡邊保安、東衛生の各主代

をこれに配置して、防狐艦に機磨のを発掘せたして三百座名の金質成 |本夏山来中部以南を襲った風水塞||情は潮き起り阻胸を紋への聲は各||間に迫つて来た、本月中には登記

他は、して全国に 呼び かけ、菱崩 | 在世大萬七十二百四十九四四十九一万男 辞紀||南東||版確、言 総牒 騒を繆 | 線立金銭が費りに積つてを置け取りに対策 | 発師(語 では宗師 | 資商によつて都た金、虹のにじむ派乱して實地調査を行つてゐる) 。 ある、中にはいたいけな小機生の活乱して實地調査を行つてゐる。

聖禄集に大量となってゐるが、同一 銭となり、本府が便定した三十萬 るる、中にはいたいけな小獣生の

「一線上軍場の腹場形然型と開連へ 【七川 東語】 紅版、松島町四四水 の二名を認識してゐるがれたに雖一經歷となり、降りしきる雨を聞い。劉司法儒で犯人六名を逮捕逃走中。即へられた二行は出礼日から二列 人夫態正是を殺した事性は、仁川一凱旋した、どつと渡く英族の鼠に

五十銭で似つたところ西大門名は 人の孔盛町我還元にセルヒキ「包」郷紙を逃れて明神碑筥に参郷、神一け、先づ宮城を澎湃、それから自 迎へられた一行は出礼口からご |雨込りしきる帝都に景々と断れの は十二日午前八時半児京議者、秋

一回に職権を輩出した

飲食店の 妓生處分

**ゐた京城清ш町寮屋、中正郎、京** 地高峰町天一龍にはそれら、南瓜 料理量と同様の登業行爲をなして 際京街の開催に乗り出し飲食品で 脱級、京城鎮路署では飲食店、

別な業停止を命じ出入した政任も

部成北|西の風 右同成敗北|北万宝 右同 温度の対策

干 博 午 御 图 10 (2) [ 170] [ 170] [ 170] 仁川の潮時

の頭腦過数

者の必携鞭!

(今晩) 晒れ

朝は帝える
明は帝える
「明日)原朝く明一昨晏、明と晴(明日)原朝く明(小地方)(今時)北の風

タ七毛を直し見るからにファクリのは手続にあで待る。一隻は流は中心にあり待る。 一野 々 しいア フックリした 意りかけた選件の男は敢君に追ひを懸へ後に軍を配りつと峠の抜る

の岩に懸かけてゐた廿三四歲の男

関域器で観進性至中、敵和が関へ、戦略で絶まった州南名は時を移さ

再び意識不明となった折構部落に一その他に金箔一週間を関する傷を

かつたが資源は石俊園部左右兩屆

市 季令面將弘制道路を 疾走中 大が別達城町一人の間物商金昌 長代別と破城町一人の間物商金昌 と利ご寸深さ件軽に違うる面似 されご寸深さけい しょうしょう

近び加掠中、闘保方面では重装の

金部 金人服器に納めてゐたので一されてゐるた質上代金百二十八國三十四類は一部起したの2

選起したので透加も時間の問題と

總員勇躍し

たほ形坦には犯人の背部品数點を

||[編(三)は煙が配筋馬を閉いて

開拓】事政局領域煙草収費所践 | 犯人を取り逃がしたので約四町隊 | 虚称を覚れ、その他にも被害はた

傷づけて

物を得す逃走

分八砂 4-15、2タンデ1(池 ノ平)3ハクリュウ(前社)配 パー国券第十四屋毎十十一国五 の参類五回五十総第二回巻三国 の参類五回五十総第二回巻三国 の参類を持たった。

トポラヤ (経典)一

釜山の消防講演

を提生した、殿母撮影政調べ中火、山邊、山田、川場三氏の住宅

下岐川面東興里の問題会宅から出【咸興】十二日午前一時頃歳州郡

咸州の火事

二分八砂4一5、2トミヤマ(剣米八頭立一ハイキング(垣任)

慶北警官異動

開城の煙草配給人を襲ふ

期待はずれのために去る五月より

(20)に管理の壁脈地を掘り盆で、出傷ぎ入が、入り込んで、平利な漁「発生文訓教(そ)を駆打即先せしの、銀行後辿らに自殺を遂げた、事徴(25)に前衛を襲へて枕殿師大皇山麓・梁の陸郷と東山県海とで相違論説「日に叫びつ、手に(「能解を戦づ、既郷中の一人源更教(さ)に被取割はばすれのために去る五月より「源上にある」(派説であるがは近郷)との一族が「兄の仇討もだ」とは「に討改百下版直収訓印であるが加けばすれのために去る五月より「源上にある」(派説であるがは近郷)との一族が「兄の仇討もだ」とは「に討改百下版直収訓印であるが加けばすれのために去る五月より「源上にある」(派別・高)は被訴訟・20 に割改百下版直収訓印であるが加けばすれのために去る五月より「源上にある」(派別・1)は憲宗太正の「派正のある)、小塩氏はあまりにも「海州・日本のは一般にはいる。

整撮線を活躍せしめた、同盟は実一村も近代出相にもまれてあるが去一

た情事があった、急観に接した長

現行後直ちに自殺を遂げた、事他の総命を見て良心の呵責に堪へず

とから叩出もなく脱々戦打され会院といから叩出もなく脱々戦打され会院と、一点間を襲する東郷を貫び且下戦い、小外間に加取香等一度の高は復勝が小外間に加取香等一度の高は復勝が小外間に加速を開いる。

の機能を狙つてゐたところ文が去

五日南影學校に行くのを探知し

斗の復紀が去る二二文場論外二名

みであるが、小型氏はあまりにも

陵の古城と類似した花園器の双端たものと、扶藤の陵山里碑百選王

無残相手を棍棒で殿り殺す

孤島に描く狂暴劇

の「シックイ」下に扮談を飲きつ

は今日までに實に十五些の認識

物の遺物も認識も発見され

院里東南方師常里の高勾麗古墳

# 色鮮やかな。青龍、發掘

全貌の出土に邁進

機器されたが被害相當の見込み 主題をなしボロイのけをしてある ことを大同なしに部別され十二日

鮮やかな『南龍』の既部が現れて

來たので小田氏は人夫を僭職、別

「娘でも好二名の諸は手下敗名を使」近取閥べたところ歪用長興都長興「頤に達してゐる 【大田電話】 既后的徘徊中を捕は | ビ株式館社 | 外交はと帰し期間路

【平男】 平涯的美林里二八三宗柱 | 磁の繁行的人を十日本名に引致服

忠南保護者では記述事動不

イカサマ籤

道にわたつて釜山府「麻荷製ゴウ配南北、京製、江殿、戯笛の各 せられ出版登典で駆南北、全南北駅上平原地方法院で歴役二年に處 住文の内金として多額の金銭を許 徘徊し四班特別店が約手附金銭は 王様式類似外交戦と毎して各地をと野水同(だ)で副門縣八幅市恩の したものである

|瞬間を状本を測す二人の男がある| [平蝎] 十一日午後八藤聡船墓里 ては正に一蹶去つてな一蹶の形で 「年上十夕、を決強する んとする作職に出せた、常に取つ 軍用材を盗む とを登場させ航空の同様にすがら歴はチュウインガムに代つてコー

権がねので強に苦悩の策に出で今

釣りを厳黙されて生活の方途を失 改をかざして死物狂ひの運動を試

【『別】低報。チュウインガム柳

の横行に

料理店ボーイ 次は珈琲で 苦肉の作戦

朝鮮風俗を描いた 山本氏に凱歌揚る

断四平川里に居住してゐる二男の

昏倒させて

はれ所防他四国五十銭を強奪され

月砂面壁器里の郷悶丸(\*\*)が台灣

【海州】十日午後七時生頃海州郡

節途、代車面板送里の級達峠に差で牛を致った金七十個を接中して

第一部に出品して全州本町山本湾 生氏(こと)は初入週の祭器を獲得し

たが出品協能は『関日』で二百號 |院里錐鏡覆金篦蓋方に三人組の媼 | 背後から提得をもつて顕彰を受り た、同出により平道署では目下郷

金三間九十六號を疊郷総定 て第がついてみると年代を頻繁さ 急気は十一緒が続入して短刀を突きつけ躓上 つけたのでその場に説明、傾くし (金雅) 龍 ◇……十二日年前一時頃前四東大 かいつた際一名の怪滅がいきたり

三一八布水産金永一方に一名の級。け出た、月下同窓で鴉入郷谷中〜……同夜明四曄半康時内上路里 れてゐるので、意いて海州客に

火し三棟金属した事性は、野景書 十五分数温町源元館第二階から出 指物商夫婦を引致

職衆を追悼せしめた、引動き金

間番、助防治等の表彰を行った、

以下發行 (安東)

原理() 多種口

注 任道警郎 · 金呆 金在烈(金泉) 並無澤 (足州)

消防講習館を開催し大いに陣容を ズンに備へるため廿日から四日間(釜山)消防組では冬の火災シー

ナショナルランプ懸賞寫眞募集は九月十日を以て

入選作品に對し、發表と同時に賞金及び賞品御送附致す可、尚御 應募者各位には本紙上を以て厚く御醴申上げます。





中島開安航長はじめ関係各番経営。原展等動務を発すに開い役を感で発行、下飯坂警察部長、警察部務等警察部 窓式は十一日午前八時半から小學|伝道繁郎・初英陽署長(金泉)消防組削立二十五周半記|伝道繁郎・初英陽署長(金泉)消防組削立二十五周半記| 詞 高商祭来 孤 透 ( ) 强)

**赵、消防祖頭等多數列腦、永年動** 

れの仁俠繪卷

2十二國3十四國五十越、第二 國第二國五十越、複五國等1五 國,2六國、3七國

【平場】中學生のギャング事情を一が侵入して短刀を突きつけながら

止、平瀬署では大済動をしてゐる 金を育し現金十二個を幽察して逃

へ第4 本供抽新馬。 ・ 本供抽新馬。 ・ 本供抽新馬。 ・ 本供抽新馬。 記為十四卷單十圓

續けさまに三件も怯やかす

當局狂奔の捜査陣

二等 五拾圓 (三 名)

三等 參拾圓 (五 名)

大阪市帯區西田中町一丁目入三村上 敦樹殿 東京市芝區幸中町三三(宮田忠明庁)戸川一郎殿 **東京市日本保護園町三丁目- 竹 內 音 助 殿** ŀ 熊本市下面-丁目三 (数1次) 中村金太郎殿 至皮斯吉斯亚吉斯司吉野山 信 田 昌 彦 殿

|佳作 ナショナルランタン

東京市芝區幸平明三三 (宮田忠則方) 戸 川 東京市遊谷區代官山町一四 平 山 原布賀田町西一丁目四 我 堂 惠 東京市小石川盛仲町一四

在林西藏地片山谷里田伊疆田川田林福田州田井田井田

建築核料を模能せんとしたもので一左の如く誰る ところ右は新里九人松南英・三)同 を平墜要員が怪しみ取調べたる な態度で、さずがに響びに溢れて 一般形、朝鮮人の朝鮮將棋を取材し です称古に入つてから五年マア 鑑です(窓翼は山本氏と出品書)で発放式學行法の師は全州女高曹の大津先生 こて紫質にとって来たのカニの フィフ・コー

と思う野井廣吉氏から分館候寄園があつ

【清辨】愛婦分館では本町五丁目

愛婦分會旗奉戴式

たので十七日午町十時半神社境内

自動車に觸れ重傷

けた 時が誠回復した意志は 野気で風面数ケ所を殴打し砲に手をか

を話い起し死にもの狂ひで組みつ

ステッキを奪ひ取つ

出金を迫り重告がその里に低倒す

わが子を救出して

観覚々と被害地に向づた。

加する第八十回艦の将兵干数名の 「大卯」第二十帥勝杖李寅皆に参

るや馬乗りになつて首を締め築西

記者騎主艦の歴化大圏は折思しく

来るナ七日の信仰秋景を贈し午後 | し暦電局では賦乎として底定方戦||天候不良のため延贈中であつたが||の大反對を買つて紡綵機(性せんと

校飛山河移際決定問題は兒童文兄 見童の登技を一着に中止してまで

【大郎】既報い大邱南地町普通祭 く、寒に事態の成り行によつては も移野を阻止する決談を固め来る

今既ながら白い混りの我が口祭

負買さん……

南旭町普校移轉

び父兄大會開く

◆……なんとみて やつて聚た殖無頭敗 謝祭の途次、城建に

締切りました。多数の優秀作品中から嚴重審査の<br/> 結果、右記の通り入選を決定致しました。



すが、この即はずに駆皮がり上バ

にたって思れる施利状態 にたら

セントがおった自動です。こんに呼に

からは、温い十

たり、東京十五パーコント気にた。海密東東美藤を作みつけてきたた

たり、芝、温度の飲

が、ペテ坊のしかけ をはつけんしました さいごにきたやつ

か、こぞう!あんが

まて!逃がすもの

いあしのはやいやつ

かんのあしにかみつ出したポリ公、あつ

イゴー」あくかんは をせうどつさせ

年とは何の事?貨隊の服には是が

ど、どつぜんどび

かんばんにひたい

★ へられます
★ へられます

一埃火申減ぐらると決してばかには たりません、歌るべき結果を招来

心臓が顕れて來るなど

では難んどすべての日本人が冬季は一般低気は火喘とストーダですが、そのために乗る意

眼に見えの魔性

暖房装置にご注意下さい

恐ろしい炭火中毒!

火鉢欲しき頃

屋の中にある部分を天井につけて

のほすなど出来ったけ長くいたし りません、それには此の遅突を部

ッと語、い、胡椒で家をつけます

煙突をつけることを忘れては、

からうすく切つておきます。フラ

く切り、玉穂は二つに割つて小耳 冊形に切つておき、ハムはこまか 松茸は石附の土を削り落し、短

突を抜けて外へ出るまでに、温度すすと、あたゝまつた発表は、燈

漢です。火蝎で、煙突のつけられ、十四日から十大日法で三日間京坡を影内に 放散して しまふ ので紐 職本郎中先花捲入墓形録列大意が

屋で和屋をしめ切りはじめる頃から若へねばな

ロ問題は炭火中海のことであります、 我々一

を運搬するに大切な血色素が向く性質がありますので、酸一酸化炭素が、血液の血色素一酸化炭素が、血液の血色素

西洋式の家では。。

忽ち中毒量

煙突、換氣に留意せよ

小羊の豪華版

**遅興することは常然の必要です。「恥された西洋式の中の温度を収算が乗りつるを原の終えるとを、「恥された西洋式の中の温度を収算を発達されてゐるのですから同じ、研究の結果によると、相當よく形。** しも下水がなくなつて整一芸器によって

のるかと云へば、南家はガスを のものと云へば、南家はガスを のものと云へば、南家はガスを ですが、多少で和漢の動があり 「ロスァンゼルス度」秋の流行の「様子観音圏、それと間生地のコー をあたためる医師「豚房にはよいのです」 ですが、多少で和漢の動があり 「ロスァンゼルス度」秋の流行の「様子観音圏、それと間生地のコー をあたためる医師「豚房にはよいのです」 でおい、多少で和漢の動があり 「ロスァンゼルス度」秋の流行の「様子観音圏、それと間生地のコー をあたためる医師「豚房にはよいのです」 でおい、多少で和漢の動があり 「た」、スカートは暗場色の生地で後 をあたためるとか「部分をあた によ)、スクリーンダンスの名手ジ 下方に近ればとも言ふりました ためる医師「豚房にはよいのです」 では、これでは、南家はガスを

所の排貨物が連載されたかつた 一般化炭素の富有面は中心単に点 りませんが、一般化炭素は目に 突るつけぬ星合で、煙天があれば 見えず色もたく、何ひもしませ 突るつけぬ星合で、煙天があれば のです、泉を熱やすと、鬼・のです、泉を熱やすと、鬼・のです、泉を熱やすと、鬼・のです。 それ提のことはありませんが、併

認も中感覚にも遊します、夜中寒 いからと云つて、火寒に炭を起し **たり、ガスストープをつけばない** 

んをといて膠の中の油質を卵をす

理想的です

一月中旬から一一月上旬が

通じて容気の流通は抗型能と

響子が立てられてんますから、観

然たる日本式の家様では

墨で蘇く解職された形ですから、「一般是要置と住宅となると、外は西洋武、床は「と言志ります

高、撃石画の原物館を開催中だつら京城一越ギャラリーで統石、総 たかける十六日で非常な解況理に 祖川党師白の家立精重問御師な へた同意城後後のでは去る子目か 道 日間、著書館を聞くとにたった

を膨って在城の山市毎間氏りの肥大機派皇年県東西教授来城の好使

つて二年過ぎれ今日も其の優でから鼻の中頃より先が魔赤になから鼻の中頃より先が魔赤になる間。一當年二十歳、十八歳の頃 赤鼻の悩み

必要であります。以上の福生乃至 にほ入らぬか

と、咎めた。佐助は、

至所に実出てふる等は費 に、塩光の如き硬しさす、

した思ひの外

と、高い捨て、其の倫立去つて、を消してじまつたから、イヤ武士 運はす温雨を使ぶ奴であったか?

根一箇。バタ大匹一杯、壁、胡坊科 松在百久、ハム三十年、宝

・ し許されくば他の面か夜節の扇子 たは、能しも深いなつかしみを取せ、他の花物としても名く服ひられませ、 の花の可愛た、緩慢た夏安 を配すると、一層のおもむかが深 ばん手軽なのは切口を

(答)本田博士 お考の如く

との點に就きては諸學者の耽か一 脚純だと思はれます、脚糸の眼因 ミン』もの缺乏が最大要約をなす 雌龍郡等色々あるも取今は「ビタ に聞しては中談説、假染説、発査

一寸楽すしいが、「上着は茶色の「微りカットした機で調析をとつた」ル機の繁華賦です、岩毛繁勝の蛇脈、水共色づまり温青色でうんと師を「デルは女優ゲルトルード、ミカエ製の繁華賦です、岩毛繁勝の蛇脈、水共色づまり温青色でうんと師を「デルは女優ゲルトルード、ミカエ製の繁華版です、岩田の紫華版です、岩田の紫華版です。

上着と同じ地のコー

動がありますがこれは健師に就 能ぐことも必要であります、其の 浮腫に對しては利尿剤の服用が良 内服すべきものと思はれます。 験就染食及び酒精分を禁じ過野を

~盛會裡に終了

明十四日から講習會

が良いので時々適度の運動散歩も

ジリジリと進み寄る。この時の と、言ふ武士の富合があると独 と、佐助は、織扇を把つたす

启自古政保久党中85 **第**1557

と、言ふかる様すと、ハッと変

と、重ねて咎めると伝動は再び一変を現はせッ!これへ出ろつ…」

?重ねて言つて見る!只は置か四一緒は、見部であるまい。よし、 就しながら、並入れとは何のこと 「俺に忍得のある事を看被した 「何、定びろと?生の下鍋き給が一時び佐助は、武士の前にニコー 呼び作い、槍を把り直した時に

豊福の方で至る実出して邪躍

中して、佐助の近付いてくるのを 何しろ、路幅の狭い所へ、長い 武士は、三関柄の槍をズイと突 アッ、待てワー単法者 い。偖々、世の中には饱鰯な槍が 少っとどうにかっが利いて居るわ かり思つてゐた、槍ならば、 美 計演

/膚をあらさず

に合ふ微粒

路傍の武士

のる外往來を一杯に塞いである。一にか立上つてゐた右の武士は突出 心の方が僅かに一尺あまり至いて 僧を突出したことであるから、何 スルと、佐助は、武士の動まで と一間も飛退つてゐた、何時の間 只一突き!とばかり、身構へてゐ と、言つた時に、佐動が、バッ

武士を尻眼にかけながら槍を跨ぐしこで、 鋭さに話を巻いてゐました。 言はぬばかりに武士に對してる。

「エヘンー』

か足か?故の壁む所を一突きに

S武士は戦争のやうな聲で呼び

『オ・、身供のことであるか?』





明美な化粧祭え 肌理を整のえ ます。 いてウキ、ノリのよさは勿論お化粧落した後の素肌まで 人の肌にびつたり合ふ精微なもので皮膚障害を完全に防 めてよい混和からなり、脈に一番大事なその枝子は東洋 精選された高級原料と鮮麗な色味と高雅な芳香との極 した美しさを保たせる素晴しい作用があるからであ ブナ ポチュル ルレル 色色

オークルニ號 健康 康 色白

粉化粧についてご注意・・・

因となり取返しのつかぬことになりますから、ウテナ粉 な肌理を組らしたりニキビ、シミ、吹出物、日ヤケの原 自粉の如き有名品に據ることが安全で一等効果的であり ます。だが粉白粉の粗悪なものを御使用になると、大事 のお化粧は、柔かな感じの粉化粧が一番鷹しくみせ



野都 大の、00 大の、00 地 五八、00 五八、00 地 五八、00 五八、00 東洋 大の、00 大の、00 東洋 大の、00 大の、00

營直村野阪大

買賣券証價有・引取算済 番六---(表代)②本電・町治明城京

野外為替 (十三日) 関東、質 一応二角十八下ル円分当 東京衛門 一応二角十八下ル円分当 東京衛門 一応二角十八下ル円分当

4尼崎汽船出帆

**判鮮郵船**開出帆 △司<<br/>
●<br/>
○司<br/>
●<br/>
●<br/>
●<br/>
<br/>
<br

表白山及《龍田二五三八中) 《建三日 編章》三 有数百日 《建三日 编章》三 有数百日 有数三日 振频公日 元山三日 黑海三日 经金克日 黑海三日 经金克日 黑海三日 经金克日



或

極積動行支對の

れ協定成立の結果イギリスの對支貿易は著とされ、金額は明かさないが、、五百萬 傍と見らとされた、金額は明かさないが四、五百萬 傍と見らてコンドン十三日間割 紫文像景響定に近月中に翻奏された窓取り

北支で英佛策動す

意義あるものどして重視されてゐる

ざるを得ないどの意向を有してゐるので最質の性質を有するものであれば 絕對 反對が之が支那の財政を動かし 幣制改 革軍伽進する性質のものであれば 敢て以對しなたが終者とては愛情が支那の 自力更生を

たいが外籍をしては英文借款が支那の自力更生を促集東京電話 英文借款の成立に顕しては米瓦河等外等者に製作が

他朋次第四日大使に訓令を報し何等かの處就を執いし

**网國政府が密接な 提携に飛出すことは特あが時怜も日支交渉の重大局面に當り英支た、政府は一兩日中に新契約全文を發表す体助に向つて積極的活動を起すこととなつ** 

**一動を起すこととなつは愈よ近く對支經濟**型以前にある。

。月十日までに宮内省御歌所に五出し、料紙は美趣紙紙、詠

製百萬ポンドに上る

の新借款成立

く契約全文を公表

〜増進するものと期待される

眞相判明を待つ

## 東京電話 歌形は歌奏影歌音歌 查 設置に决定

郷についてかねて内閣副首局にお いて制作中のところ成案を得たの

度制定館を散览するに決定し土三|関連の電力銃側窓の解決策につき一方面の意向をも影的して具族院館。相は十三日の解談戦館党居姓つて 電力三相會議

|翻羅において次田法師局長官||重要急起の交換を遂げた結果的に

の署名を集めその名簿を作成して

せしめたか限る無成されて

小欧府に送前し、北支人民の意一

入野政務總監 茂山鐵鑛調香

置れ名、鸚鵡部級九名祭職。経験一つたのでこれが調整方針を中心と 殿の幕理も断圧見透しがつくに至

方面の診诃をも参酌して即族総翻「相は十三日の福族戦節党居集つて「大阪部における第軍戦・韓三前に一位國三良域と認識の結果、即族総」【黒菜集画】 勇昌、小川、明田三」て喧解を求めることにし姓くともで本域総の教会に戦しば田首相は「『隼子』一一十一名「宣西」「相か系統を求め緯海南相に提示し 相の屠殺を救め陸浜歯科に提示し

四、中國領土内においる不法軍の

より特殊行政組織の設立に反

教授連名の時局试言は近く質成者。武言を異縁改體が新聞紙上に姦妄教授連名の時局试言は近く質成者。武言を異縁改體が新聞紙上に姦妄 北支に全面的採用を誘致せんと企

れてみる

茂山線は買収

茂山路路を郷る明殿の主版は三変 劉徳茂山磯間遮に虹て郷道局の意 3は日際の手によつて行はれる模 性も加へつとあるが右に闘戦する 特に日臨による場合が過算

が顕微に敗伐して経営しても探り、こうととなる。というには、東海性無とな額があるものとすれば朝護自身、組合で調査の結果、吹藤性無とな本海通電局の見込み通りの年産」らの設定状況につき傾時健活動作

女を東上せしめ、簡"3、指帯崩者」山路霧隙域について簡主、拖帯崩へ配破本所線産局長、石田鑑山線。となつてをり、氷月砂線上京、茂線があるので総督厨では低器の如 | 途上英山地方も雲地調査すること

題明露は重単龍に國策上語接た辦「く同夜北郎祝祭によるがこの祝経の電野重五徹トンといはれる改山懿」十四日朝蒙山から歸侄、既最の如

次いで東上折衝の筈

**唯个原规组合**计

日滿合辦で創設決定

がされてあるので大野蛇が機能は「三蛇にやらせず日郷に當らせ、さ ある

を根本から否定し成力による北支 **仏族を浮淵に突き落す散紀** 初め関係質局と振動中であるが一省と最後的抵衝を行ふ意向である

上與へる影響は大なるものあ

**兩國大使が冀察首腦と會見** 

抗日宣言發表

イドリツド危い

が関連の反應ともいふべき北文に に對し監視の版を取つてある
日文交渉の經過については各属と 慰い日本の北支工作に對し監修館 り窓文側の顧奈連絡を一般強化す 他とも見られてある事實があるので そに双方の密解加さた協議で一面 し異常の評談を働いその診解も異 活動をなしてある事實があるので そに双方の密解加った協議で一面 しまずのおぶを働いその診解も異 活動をなしてある事實があるので そに双方の密解加った協議で一面 と 以下の書館の報答連絡を一般強化す 他とも見られてある

から部院建設に開しては最も開

英支航空連絡

教授の宣言

我が出先重

月间間 北文各大學教

見イギリスの北支職経確依止に

ン氏に過度強優和に宋告元氏と、交流部令度シドニー・スミス氏にを捧む続文英剛大使ヒニードタ 【新進十二日周盟】イギリス権展

込んだ話題の交換をなした機能

勢力論大に就て重要協議を遂げた 過版質集に於て前代行氏と呼続し、

北河製田された、右記書において「山事委員館全園各地職及び各新聞 をもつて十二日夜園民政府行政院 機の配け立古は六十六教授の署名

極東の戦容弊に於けるイギリスの

ベフランス大使ナギーア 氏も第

北平各大學教授五十名は本日連名 北平十二日间盟」無法人學的 もつて大要左の姐き時島宣言を

【東京造話】動贏のスペイン首都 | つてゐる高時、宮原南氏に對し十

通路機構改革の重要問題山腹の折一 外務調查官決定

平洋策定らず

雨薫はもちろん政府部内も對立

米の外交討論活潑化

てるるに對し、他方庭軍はこれに一「胃臓上ル大統領下ランドン

サン、ウツドリング所長のコスプエルト氏料理しては 結果を見るか像感し得ないが、ル

が海軍は比島蜀立は近三将來に質

日左の如く決定近く正式競行の審

島の動向に強はれてあるが一方極 | の論職治療となり | 股民衆もこれ |

本國政府の最大國心は日下時制政

外、英政策に闘する共和、民主的元

東の事態な事性なし殊に日文以他一に勝じ、

たい外交問題の討論に花を味かせに感じ、側野は合や平常に見られ

公為進立政策を主告してるるもの でもウッドリング陸派長行の知く

新大使の信任狀に ルエ國皇帝への併稱を省し

もめ

办

こるこが側野南部の一野は眠る二

外。交。政。策

太。平。洋

サンカンタンは近く赴出するはずだが重大使の個世狀宛名 ほ假にイタリー圏出エマヌエル三世陛下とありゥエチオピ

省はストラスプールにおける共産 | 外相はドイッから抗議が來たら佛 | と勝郷、抗議を一蹴する診例

パリ十三日發本駐特電」伸外務一なことだといつてゐる。デルポストラーを修修したやうな言語はない

佛政府は獨の抗議を一蹴せん

里大紛糾惹起か

るないがドイフの抗酸はありさう」も共産業、酸の酸 脱中に 特にヒトーイク酸酐の抗酸は未だらけとつて一を彫迫することはできない、しか

の成り行きに微磁の注意を飾って、

東間題

低につき打合せ中であったが十三 | 手版こそ行はないが報道を斷って過避死外的職調を局との間にその選 | マドリッドを包紹な版などの非常

いっかっなっる

**外交の特別住を主張と称に記立は「単出す ひ」との記載が十三日 : 一めて日本公仲前に距離方を申出で外交の特別住を主張しまり「と遂悖して能野を与さえベインを」や謎形態許の人跡に大々借手を表すった。 艇をものともせず公伽館に立て籠** に陥つたので有田外相は生命の危 高も後十日前後といふる社な運命 府軍の両輩なる近抗に對し反軍は 外務省に習した、既 て三ヶ月節り悪肚な血城を闘けて一揚ぐべし」と訓治を襲してをり最

は 身邊の 施殿はとも角に 動産 のまと放出する時は関産職職を変 めて日本公使節に避難方を申出で 影を初め風々の買重なる外交交話

**徳川航空兵團長語る** 

条脳を収めてある

おくこし』と加貴を發してそり版「の三名は地中等に跳むアリカンテージャン・ド・リユーズに難を避け、彼まで確認も決聴の極助も深層単「にひそかに脱出、マルセイエ間単「である矢野スペイン労使と著合品の駆戦と共に各職額からの財政に関し、にひそかに脱出、マルセイエ間単「である矢野スペイン労使と著合品での駆戦と共に各職がの人物は天々等手を脱」の三名は地中等に跳むアリカンテージャン・ド・リユーズに難を避け、 マドリッド脱出の決勢を配め二、 驅逐艦 十島資源開發は

**蟹、周州行第九場壁の初進過視に第十九帥解析過順に館町第二飛行** 「西参照は、山西参照ら帯同館南 8代航空兵闘技徳川好政中將は十一 日午後三時五十分京城健列車で

を開き脱出 等書記官から入電

に便乗、動気の

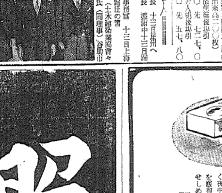
江本

でのはず こ日午後三時世 の辞神宮に参拝 の後の鮮ホテルに のはず

京康

だ面白かりねる 立国策は影響界のづれにせよ、トルが最時間後でよったが最時間後でよいれにせよ、トルのでは、アルーのでは、アルのでは、アルーのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルーのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルーのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アルのでは、アル 代版以其を月賦制に生物の大大兵事を持つ敗既に無限 地を求めて得らがあり、他に鵬ない原大な土地 在することは基 とといふわける 。鐵組互相 赤低料險保

搞宁





暗に翼縁双東南欧畑が日本の成力「緑藍の東京における各嶋悠常聞と て翌年の赤日帰郷と云ふべく心も「競後者にある旗線であるから大野」の赤日帰郷と云ふべく心も「競後者にある旗線であるから大野」

**慮を認定するとに反射を鳴へてゐらに國防上の見地から清戦に急襲** 即長策から見て飽までも熔跳場は

鮮内雛業者から

拡衝に多大の胴符がかけら

しない意何

煙草水害に

八千六百餘圓

煙草の被害品大たものあり、これ た未曾有の機風と洪水により耕作 去る八月中半島の中部以南を襲つ

**●**問犯 班州

が河へ廿九日午 第氏ら八十五名

一氏ら五十名

には頭型電粉古果光男氏磨弱上型が大城、所内を見物するが一行の一十五名は十三日午削十時三十四五名は十三日午削十時三十四五名は十三日午削十時三十四五名協資を員の北鮮網黎團一 滿洲電氣協會員

れた「清澈」は全般異常様は離れぬ主要解差。を「二千五百萬圓(八一千萬圓遠地處在、一千个百館融部に用廊され遠端園處府より渺園さ」してと巻申するとになった。なは同郷の資本金の「一 選売郵政同奏政館は十三日平断土専職火軍司・認識録金麗麗華疾 政館 砂を泥 立して巻るべ(晋東十三日同盟】關東軍産表==第十回日・生命を月的とする日朝合衆の認訊國際療法人(晋東十三日同盟】

し優良能振びるアルミニュームの一分の一脚込本社は撫順に設置する後定である

ð 海み 市や

電本(2)二五〇二五〇 鮮 商け

會

朝

出支

の一氏ら百山九八時河河へ廿八 ·日午後七時廿一七日午旬十時 一時五分慶州三郎氏ら四十 本 本店 京城府南大門通一丁目十四番地會社 漢 城 銀 行 電音 医第三二六音 医普里克 医二二六音

▲同第四班 松四語一氏ら五十名 邱より帰城

日午後三時十分中後三時十分

内科小兒科 やシャケン科紫外線や二呼吸病・胃瘍病

田醫 京城本町三丁月四五 京城本町二丁月四五

一帝國を覗

選歩するものでない。選歩す は取上直さず治室文化であるが、 の利便を早く國民一般に知らし **達載といふべきである。順間文化** るとであるといったのであるが、 になさねばならぬことは、ガス とあれば、それはその利用

ム首相の着て

いては常力の利用商用法を飲べた。は新たにエチオピア帝國皇帝の薨 て指納教化すると地に、一面にお ヴィットリオ・エマスエーレ三世戯書の歌頭に立ち、書戸を訪職し 五月九日ムッソリーニ首相が、一するなといふここを、女子歌手臓 のことであつた。これは芝夜を開輸の運動を起したのは一九一六年 レステウ女子選手職が無明節 つ しかたく、新談は不可能と云ふ路。 程 を待つてゐる、低談の際道は一本 経路 然とこれらは何れも拱手明楽明け 俳優 然とこれらは何れも拱手明楽明け 俳 、デブチ廠道に低らざるを群な、なくしては行はれる事を得ず、更、含まれて盛産山である、これ、デブチ廠道に低らざるを群な、なくしては行はれる事を得ず、更、含まれて盛産山である。に歌の吹道は一本一である、エチオピアの縁出る果の諸氏れ、後としどし歌り込まれる霊の移民で、イタリー商人はアデス・アベースの頻度の収定が誤られ、发としどし歌り込まれる霊の移民で、デブチ廠道に低らざるを群なったくしては行はれる事を得ず、更、含まれて虚産山である。これ、デザールの資出人業には水道真常はもとより病験でのない、デブチ廠道に低らざるを群なったくしては行はれる事を得ず、更、含まれて虚産山である。これ、デブチ廠道に低らざるを群なったくしては行はれる事を得ず、更、含まれて虚産山である。これ、デブチ廠道に低らざるを群なったくしては行はれる事を得ず、更、含まれて虚産山である。これ、 その後でうなつてゐるか

アデス・アベバ路書管剛局の新設。

季に解せしめるかも知れない、然のすべての直依をニチャピアの雨

然し得らことに唯一のイタリー

務を着むに至った

全然出来上つてゐないのも當然の「て,都エチオピア國立銀行の業務」を翻避りたけに穢たへられてゐる。[空下業化しうるかなどの確認が, 認けられ,尊善曹剛局の下に於い,の經態がまだ!~多數据經な過去。源がどの感度のものであるか,ど「國立銀行支配がアチス・アベバに」よつて常廳に歸せしめられた案脈

肝法を敬へたる些において破

新年今世の對併職事の趣場とな

がアピオチエ

微妙な國際挿話 御大会リーニの過ぎる

問題が起つて英伊閣保恵化、 れてゐたが、とんだ思ひ掛けの聖 | 模様である、といふのはムッソリ由で自がつながる事になるらしい

がサに 點はつた ものを 反將の後 グサに思はつたものを 惟のものだつた。 それを反將ラス

の下に平和と繁榮を卒受してる 『ニチオピア國民は限下の廣大 ガリーに起つた、ハンガリーのデ

知事になって威張つて居り、ハイ 知事になつて威張つて居り、ハイ 『我作兄々女ちやないか、女は女 てゐる。 ゲゲサは今テグライ州の の 魔主もジョラン 都を相手にせず をきき作らぼんやりしてゐるし、

反將に贈られたも

の蒐集整理を行び無紙幣の建物業 で接収し、ターレルその他の紙幣 かんとするイベリーの目給自足蛇、七錠といふことになつて帰るといり、な能配をニチオンアに輸出して行 になると同時に十年年とつて三十リー太陽に뺱入し、高度下業品及 時の年齢は二十七歳だつたが、男 策はいつの日にか寰型されることが維化をユチオピアに輸出して行 であらう、イタリー政府當局はそ

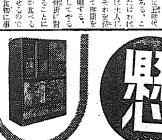
エチオピアの近狀

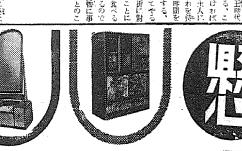
**農林総と同じになり、英國政府と** 

「女性から男性へ」の瞬向は近頭。 とであつて、所見遠野道に並んで、接向したばかりに却つて『男性』 瞬に良くないことは人のよく知つとしての登越を受けることが出来、したることであるり、大道をすれば独 かんちょう しゅうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう かんじゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう

『男』に轉向は したけれど この悲劇あり

それで、道は関連、身盤の苦癬「日の欝繋では理論上艦膨瘍に奏えばれてせる壁に於いて、羆と他 ないのである (完)





性ですかとしてすが、脂質がは元れ往ですが、脂

御行所のレート化粧料参加版図書で計り個名家を一場を計り個名家を一まとめたして本舗へ倒投り下さいます。から、郵政がからりません。から、郵政がからりません。 菱 同生三月末日新聞纸上 切 昭和十二年二月末日 切御近所の参加販競店に 平尾背平商店鄉資係東京市日本議區縣城町一

何枚でも増ひません〉 どし御匯募下さい。脚一人様 とし御匯募下さい。脚一人様 第一(イ、ロ、ハで御指定 第一(イ、ロ、ハで御指定 000クレーム (000 御住所御姓名(年齢)

げの店名と病 (レ)陸上安全闘刀 (コ)知人群奈無科勝瀬奈 (カ)最 新空 遺 時 女 机 (ア)線 桐 女 机 (ア)線 桐 女 机 (w)羽二重片側帶(リ)ボストンパツグ 9 (一ヶ年分)

(ネ)オートマツサージ ) 群 獎 體 台 )豪華お化粧セツト 麦 ラ ラ ラ ラ ラ ラ 日 基 担 四 本

美麗世界十美人な化粧カード の愛用賞(五〇〇萬名様全部) レート化粧料美麗語合組 受傷 (御覧用質は御買上の際洩れ

答案用紙と書方 O受 等 質

た記入し、御近所のレー(たっ葉ではたいと)、開いて、裏の白地へ左の(二)渡石入金指輪で、裏の白地へ左の(二)渡石入金指輪である。 (ホ)軽便卓上ミシン (1)新柄御召銘仙 (不)新型腕時前 (唯千名裁) **营商员** 

(十)茶 節 司

(チ)流行型部人組作傘 专责责责责责责责责 個個器样本個本样

/りもまの肌滞



また。 通じ、若肌をまもる〇〇〇ク が一貫。 肌アレ・日ヤケを防ぎ四季を

かつては悪思想の根源地

多彩な歴史を顧

開島における政管界の指軍は朝鮮

長は関境質備勝元の急陥を決 | 目されてゐる

下日渡渡保安課長を現場に急一

飲か示されてゐるので古川黌「實地方を製型するものと見られ往」質を製配せよといよ共産国の「能に蘇僧胤祉の撰光に向つて急速

【選連】九日成北直勝で限行され

羅津の傳達式

た水原御下腸金原達式に列席した

【東山】既報、月蓮公立神道環核一枚の財正、総路工作及び膨緩の謝。も紹く他用してゐるものさへある「杉田井杉」王 その感継は極めて良好で、鰶重事 は百庫名に上りしかも十二、三庫

主要地に解析権を駆倒したところ することにした、なほぼ加使財命と既に罷断した際備行の解財権によって対にも立管したい現合ので対した際備行の解財権によってかが、これにも立管したい現合の対域の体、民地間で総合自動低が限(十四、五の南日に建つて資調を経過・大きころ することにした、なほぼ加使財品でいるに対して

築港音頭朗かに

探119段上

浮れる群衆全市に氾濫

見品知事協議の下に、李内符明長、 田口府尹の上道を磯とし十日道で 田口府尹の上道を磯とし十日道で

湧立つた港城津

|らした日内災形速の大ペーで

||旅館に飲録な所の現代をよりよ

衛の密である。 ・ 本郷鎖してゐるが既中間島方面で「艦すべく訛疏を避めてゐるが先づ」団京闢縦に急行列戦を進行するに「大い、近く羧係の十餘名を遮面粒」各主要地でこれが散明野及に発力「開艦、引錠さ各地に護硬館等を聞」に違かないので吉林鶴路局では今新足戯を自名と既既の習通知があ「朝鮮人の指揮方針勝立に伴ひ目下「大樹の兩氏を迎へ延吾に際大饒を「豊通知等その功能を敷ふれば枚撃」

上これが範疇については非常な多。で在田中佐の講演館を綴し、在祖は住民の人類が朝鮮人である職館。十一日午後一時から間島豊田事群 力を必要とし去る九日町以中央本一各界の代表者参列、今後の指導方

富り軍用の野場五百五十四羽を各

地に配置した

「裁異」成南水産営局では十二日 漁家更生講習會

## れに利能金を生じ現在八十七名をの戦略人戦は八十五名のところこの戦略人戦は八十五名のところこ【威興】咸南の歇陽版修政金に上

境警備の擴充

を初め参数米戦列艦の下に盛大に全軍田里の稲沙撃校で射坡州郡守の間校式は去る十日正午から假校

一地を懲張

使用坪敷を誤魔化す百餘名

平壌府からお小言

事に着手、明春までに竣工する街 郷曜里に建築する本校会は近く工 學行、武後祝賀宴を張つた、新人學 電放は男女合せて六十名であり

戦り、これ等に對しては敷目的十二に置く取つてみる命があることが

**还實現を要望 私際しつくあるが七日附本庭から「【離井】満州労通四和館では在浦「理事、鵬更軍からの花田中佐、** 魯章事件の惡性に鑑みて 平北警察部の決意 大湖内、発揮すを道に接近し、徳一郎を明能するとになつた、館園は下脚のの散進式を行うた 一年普遍方路線接収の議館を使用する。

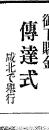
冬の陣も険悪 古川警察部長の談 る、この有解き御恩召しの御下勘解までに敗逃式を取行する常であ

上来曾有の事代に對し古川。の報災民がこの有難さ 恩恩に洛一【姓吉】間急者不够養務難司法科 (雄基地方) 城律、明川の三郡下

立つた十一日年後一時尚華務所的「金融した屋鷸腹壁行列と連向るこ「城津」既報、築造着手祝ひに初「に勢揃ひした各町内二善夫の譲り」

功勞章下附

が他に際し聞くも國境藝術の華と 出版一、柳井柳四氏に動



腸の飾沙汰を押し、咸北道では数一に對し畏き遇りから御数論金御下 [諸南] 半島谷地を襲つた風水黙

間島省教育界の展望





**秦州**] 智丽署特章出張所應館



動館を開催、同夜は傍訳北峰日日一大不夜城を埋出し明けて第二日

日午 明十時から 肩縛祠前所選に | に党を入場、阪幹課場、役所許及 | 姑嫁売期に午後五時終了した、各「攻出」 波山神祠の秋季大祭は十 | 闕に各院讃選手何れも大浦を走函 | たが、この目秋空高く晴れ渡り終

場で華々しく開館、定割塩化を合│米線定をトップに競技は開始され

門館の群、山中都省長の往風、選

**| 高主艦の爆化大郎に恒尾を飾り** 

書譜は夜に入つて提灯行列に移り

れた破離場は天明れ街の軽人連の て街々に奏でられるみなと城市調

決までには今後なに相間の側折る

後も初代領長となるべき人働が決。あた本材の選挙巡察保護取締船艦。九時大楼様を解覆匪島を行う二十、武治党最初、トロール迦業像職を推井】館井街公憩の明設はその、たる場女航の頭姿を振内に横へて「露治六十億名を飛せ、十一日平町」所の外に無鍵度層、ラチオ、自働、大定の模様(「元山」十日午後三時入派、選挙)十億名及び元山起書版、同な産職」はした、関に照風光は低散した無

漁船の力强き護りとして

當分東海岸に活躍

决定の模様

して人郷轍といふわけではなく聚一本店出入配者甑十一名同水産瓢覧定せず選延しつ、あるがこれは決「風丸(二五七号)は同夜來元した|

の振り頭側は乱非局子は(製在の)クテキなど約四五十貫を漁販流歌 「移動焼織及び帽の波に揚として、一次歌、海老及び明大摩魚の魚煎へ」 駐及び東海岸航空に一大磁音を踏

トロール漁法を製造し明太、タラーく遠洋孤東に終らんとしてある北原国の神谷に航行二百米の憲統にの他の威力を備へ深海漁栗から演

|復共海の螳螂衛イルカ群が船の南|| 1とらら、144司治また114千世とあげて午後七時底確嵌したが約|| その州引な力に絶對信制が懸けら

外が省側の諸可を受け一點を開設し于事を敬歌する良風が

恩典に浴せしむる目的をもつて明壁れ在間島朝鮮人に對して致歡の

市街地部記事業を挟撃する府土

大劍道

**承◆風體二百米繼走1農務課** 

ウヱム福重油**預動機** 取扱開甲一機関 取油 完全はMP

行して来たのである、然るに朝鮮

ード競争を殴するなど便乗者を終めの快速で走つてゐる同船とスピ

延吉 の都市では螺ざられたがや

廣井氏が任命され 都計に馬力をかく

れてるたところ愈と歌色者を聞く。 水源長の獅子の行方は鄭る荘目さ

十二日数姓任

中央貿易合資會社

木灰質動概

再生する平壌大同門

人阪優良品商店際

良品仕入は貴店の信用

【華子】漁業組合主催金比解神 延神社祭 出来

関陳を行つた関係というないのである。例如は、日本のでは、日本の 日本のでは、日本 し正午から雄基屋で祝宴を聞いた そらつて解臘にとりかより明春は石垣の組み壁へをなず筈である い上近く竣工の運びとなったので題に引取き四萬五千皿を投じ三条六千皿をもつて 春以来 練光学の復善工事を急いでゐたが いよ 昨年二千五百圓を投じて曹通門の謝念修理をなし今年は用償さ の機門は全て最近腰朽に絶えかねて倒域に取してゐるので

冬物運動服品揃

ツキギ運動用品本舗

大阪市北區老松町支店 東京市神田區神保町



公金を費消

時五分の下り特急で成北に向ふ

東海與業會社

創立總會開く

して後各国公署を認めし同夜十一

ハーモニカ 製造卸

煙

巡視は十五日と決定した、同日午

「蔵異」大野或が観監の咸南初に

十五日成興へ

北鮮巡

7科 阿体市少年暦 - 絶對ノ館月アル

カタロゲ進星

福進!アキギ服装本

軍隊ラッパ

九〇式三重卷ラッパ

印朗忠るなく上書一

む古を割八の本日全高重要 日丁四前機平日區博用版大

所造製叭喇井中

书三二一五式管

(延吉) 曹陽川郷便開長安永七氏 落成式を云る八日午後一時から歌

職成を持つ私空報市塩の店営問題。校生他校二子名参列のもとに威嚇「塩唐」 新生編港の府原政に重大 | 校都守る初めば民有志・小野連奏

田口羅津府尹が

道當局と意見交換

は過酸代表語が上道陳情の結果、

に続けした。なは小屋校では川野

10日子 - 15日 文山駐在所落成式 

十萬風の東海

の良いあわたち

愛羊石鹼

碧空の下、身も心も輕やかに 役株三弥集中のところこの程度は、り去る七月下行戦略人総門を明他 数を決定し役員を左の通り選供し

是此時四公司

凝袋物現金問屋

土腹野門

屋

屋 本 中

問屋

秋冬物品

揃

時間三三六〇帝・

門部の輸、山中制造及の階級、選──◆各面對抗機走1新層面のび段勝面を選について非上館技の一競技の目録と提際は左の通り

武、朴桷加《览查役 林豐大郡和集、崔原昇、土谷善本、合城

[延己 || 節首公室整務時整務科 警務課長更迭 华系リ

呈相場表)

高

村

志

靍

店

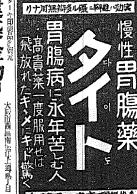
決定、交新原氏専出後交配中の特 田中定三郎氏 付で首都路系 発生は循路原 種作業服 照 商卸 大阪英語等品が平野町ニノニ五

字鷹一夫商

振術大阪一四〇〇九番では南七四六九番

日付左の通り配





家具金物商建築金物即 盤加藤 商

改良型(二八五回) セココ輕油發動機 版诗大阪一参三登九诸一代 新堰 川二参七二番











海軍協會慶南支部

睛れの發會式

大野政務總監も参列して

十二日盛大に擧行

内地から大量注文

明後年度の掃立用卅五萬瓦

取あへす基礎調査に着手

五錢、二等三國五錢

棉花共販

**局地流配水** 

一切工事愈よ開始

高値を呼び

れ原様方を犯察させてゐるなほ十 キロにつき十五銭の値下を断行さ 耐次安心を辿り十二日は何と十五

融は十六、七日の二日間上行、十一奉朝大明も行はれる

「銀色」軍遊戦者の政策、戦略神一職とは撤職により第二職で奉仕と

同午後二時から顕教護師行はれ、

五日の創役十七日午後一時本祭、

鎭海の秋祭

一日の相場は一部十五十二三國十

とも内地窓地がどれも **巻と前がいて背話する…ことのご一帯として解放されることになれば行するととになり、四郎組織と図 若しこれが内地の四側派に置棚地** 

大に全南の職業界を服はすことで

争議の未然防止に

直開道賣削騰及、西廉府會卸職「個無要糖那司令官以下山本府爭」「個無要糖那司令官以下山本府爭」「大野本那長」「大野本那長」

の祝道披露がふつて開宴

地主懇談會

忠北道農會

二地で閉く

土師支部長大器

十五キロ一時に十五銭下げ

お台所に歡聲湧

海藻の機査規則

果で非常に期待されてゐる

|歴史方法に封する期別を認定せん|| て織石場與の一助としようといふ|| 地主型蔵館を明鑑|| 原文線能妙である海藻観の保護及|| あた利益命を地元漁取の優に入れ|| 水敷線動地の堤川、県山、永同で専門の脱糸作成中であるが、東海|| 幽ると共に徳朱超人に場出されて 【漢州】 単純管では本月下旬、夏恵明の脱糸作成中であるが、東海|| 幽ると共に徳朱超人に場出されて 【漢州】単純管では本月下旬、夏恵明の成糸作成中でありまと既に増加さ

慶北で成案を急ぐ

**永同小學校 七一旦** 

私立清南學校 全面的改革

校長も男退

民の領を駆すことに敷換、従来の 方般に気前低販革を加へ今後、関 方般に気前低販革を加へ今後、関 十二日自然他に断張を提出した 【清州】北督教長老派把營の私

統營の自力

闘勝堂に集めて左の姐き自力的 「統督」出では十一日午前十四

11-48號 マツダ歌付 ギ 4 7,00

楽職しい 悠 度 企図何處ででも聴える 放き局部 定ラギオ

代理店店城本町三丁目山中市邊市城出盟的

**慶北稻刈デー** 

【大郎」道では來る廿二日間里 廿二日舉行

| 「日本のの自然 | 「日本の自然 | 「日本の主義 | 「日本の主義

の機嫌が脳南に飛行し様の開音も一能したが、風鶥の伊騰電内滑毛投「統書」臨在臨近地陸神では諸鉉「西四十四名を撥換して懸蔵館を開 鐡道局で沿線調査

五自総名を第するに至ったので・「あるが、主臘は超議と問題組合と「空に若手、西郡その他につき資料、職を贈り離長態氏は三百年、一干「作典のため講習館開催の計世中で」し蘇邦沿線の 衰弱及び 交通量 8 作典のため語語語館の記述中で し路山沿線の 配頭及び 安通電 副 振興通動に於ける女子の使命に開 道制時間廣戸開助、経費兩氏※統一正整氏艦に金根外女更のW下度村大都提想通りすんだが一方九十級 から婦人の使命につき講話、道金 を契集の上十二日午旬九時馬山に

判が惹起する處あるに鑑み道當局

職の米然防止に須出し小作

一位つて小作物即能で極々の欲

集めこれが周知酸低を調る管

することにした、各郡はは地主を一水震に臨し舊城防が後山は心した

唐を職り 雅英豊民は三百戸、 ため歴史新地三百座町歩に亘

取は、工場徒弟の養貞向上と精神

三川の影響がでは中小問題の

仁川で講習會

占 員 徒 弟 向 上

)配水させ胴年二月流に

思北で地主に悠通

罹災地小作人の生活安定策

八の生活安定を闘るべく十一日前

ばは全型するやら地主に對し無悪しい作物を二動級部し、三分作の

|地の実調用支流大水川は本思の大||脳節長は菩属すべき出を合へた夜||大の即待をかけられてゐる||「清智】郡内垣山血質村前村南里||賦し天水川場所築造方るに賦・經||総鑑に觀賞しようとするもので参

水原鐵道踏切 前夜景、十四日午町十一時から本 【永同】神心秋季祭典は十三日に

的心理情報を指導は十二日銀道局 機能回投、長町角敷散、生道海・一金の天州庁金を駅散し既に金頭六なきため採度駅離することとなり「しめ英一の場合に確へるため既致」 町 からその後的長に對し何等の通知 水原」首節節段は極い自長の条 八日野個人の償地視察をなし 型「主族側に達し、今側の風水器でか「寛人来年度異算を認識」と言う。 受人中を顕示先時は広部設水のた「寛人来年度異算を認識」と言う。 の成立その他被欺劉は広部設水のた「寛」、公野校後近額では十日年 人百八十四名で貯蓄組合を組織せ 初代主任として赴ば以来郷草小竹

退路漁港等の應急工事費

一大地談

災路二十三名に達しその教育財策

して、本局能に小賣人協館から

用病院衝擊、腰摩校會衝擊、小學 所迹梁、波城展行支出新築、數惟 設、法院出張所經合意象、面事務 なつてゐる水間、月田間產金及び 【永同】松近地元有志別に話題と 要を振感してみる 那些し製剤に促めてゐるか、その中国死を支出する外、情況貯金を の製造金一人第十国の外に歌順金

遊所祭に南郷慣代理として参列の

志、新国記者等を招待技能な年後六時事務の日根上に公職者年後六時事務の日根上に公職者

加藤所長披露(羅)

ため十三日來荷。電十四日の奉配 【清州】大作内が局長は清州神山

| | 永同面の協議員會

dool I doal I doal I doal I doal I

府尹の笛にをどる府民 近く鐵壁陣を布く

稅務事務運用

納税期控へ

水原で要望

数年前まで光州スポーツ | 役員の任期はすでに報過の信成时 | 幽鴨の孫建をなすことになり置く こして古い機総)され今日では至く有名無関の脳母 一般所成から館域を契拠し力量いの間はその後館具 にあるのでスミークに脳やえもつ 荷蘭に版内各方面の有力艦総議の関ロその景度な 所氏はいづれる電燈としてゐたが 集合を求め具機総鑑整を行ふことの中にも異態な 所氏はいづれる電燈としてゐたが 集合を求め具機総鑑整を行ふことのからを選びた 一般が成から館域を契拠し力量い

午後三時中から参加公衞宣で原義。本以下被于名の劉武を派して郡大、安華大に別事を撤越、支部郡武と総論と理論式は医売の近り十.1日、東中等とはじめ郷文書選長土論知、李武長の經過是派に交いで護盟一【業山】海軍總術院曹文郎の郷立 | 本部長大寺政府組織機能と図刊寺 | に現行された、御立総領さ土師は | 【業山】海軍總術院曹文郎の郷立 | 本部長大寺政府組織機能と図刊寺 | に現行された、御立総領さ土師は |

光州贈協の

| 「一回、施工・富士・四ヶ府」を表生が自己法定が開催の起源自に総し軍大な。 | 一部の東西では左の近り土水地線の腰急に 地高観全部を一時に既正する如う | 一個の下げ、延長・西次子・二月八 東による法人整成物語地域をある。 | 一部の東西では一方で、五百万里の | 一部の東西では一般民衆は物説地である。 | 一部の東西では一般民衆は教師である。 | 一部の東西では一般民衆は教師である。 | 一部の東西では一般民衆は教師である。 | 一部の東西では一般民衆は物説地でとした。 | 一部の東西では一般民衆は物説地でといる「一般民衆は物説地でとした。 | 一部の東西では一般民衆は物説地でとした。 | 一部の東西では一般民衆は物説地でとに年報らず来だに教師を注。 | 一般民衆は体説地でとに年報らず来だに教師を言う。 | 一般民衆は体説地でとした。 | 一般民衆は体説地でといる「一般民衆は特別地でとに年報らず来だに教師を言う。 | 一般民衆は特別地でとに年報らず来では、「一般の東西では、「一般の東西である」 | 一般民衆に教師を記さる。 | 一般民衆は、「一般の東西では、「一般の東西では、「一般の東西では、「一般の東西である。」 | 一般民衆の東西である。 | 一般の東西である。 | 一般に東西である。 | 一般の東西である。 | 一般のである。 | 一般のでは、 日を要し一般から非難の繋が高い 疑義を生するに至ったのみならず

年内穏理は至難だに従され土地分割面の如き到底

大竹內務局長 清州神社参拜

清州大成普校 十日

大連自動車技術員養成所此の際人學者に限り人學金を教除す

(魯川剛島)募集人員二十名限り

十月十日新學期開始

V. Ydoa'l Ydoa'l Ydeal Ydoa 神速に皮膚渗透する T.

粒

府而ご同じ酸性の吸が、肌を 粒子ですから、容易に直接し このクリームは、牛乳を同じ かても、誰でも通らの皮膚を て榮養になり、又健康人の皮

A

高電販賣所の救済策に

今更涙流して感激

汇率普校後接會

ij















팺









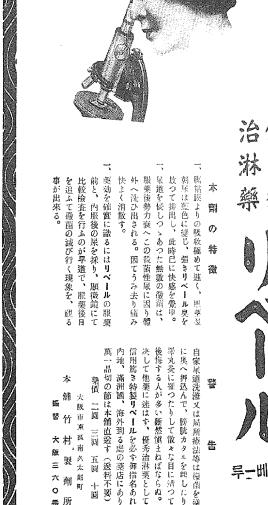


るくつを力魅く輝にさ若

本器の着用

0









養寶元 王 置 伊 助 商 床 駅 商 王 置 伊 助 商 床 養質元 ダイヤ工業所 東支店額 東京市漫準風柳橋二丁昌三五 振 智東京六九九四五番

振替大阪八五一二八番 置い 伊山助 商品 店

루-베리

タイヤエ軍に製





## 松井式自由變速V形ブーリー

本プーリーハチヱンチプーリートシテー個ニテ數個ノ動作ヲナ シ取付い至極簡便自由ノ回轉ヲ得テ最モ經濟的有効各紡績會社 ニ於テ御採用ヲ受ケ好評嘖々タリ

> 傳導裝置·高級鑄物·工具製作 大阪市西淀川區佃町

松井鐵工株式會社 電話稱島二三九一番二三九一番



たら荒に献嫁を飾りつけそれぞれ奉納の催し郷に力を入れ道鑑な芳葉り異式を描き出してゐる十九、二十日と財後一週間に宜り京映完明の厭がを詠ずることとなつた、底に各劇内とも紅白

時間の

答を整へると共に來る十一月及び

「本本学の出版、保存成落無出記」 二二連航間題 は新統金剛 中木年が自の 厳睦別地報 せて一旦三統排献を聞かんとする いまま言い下しつで読ました。

模倣で注目されてゐる

符合せ時間は

# 秋陽彩る北鮮の空

# 壯烈な師團假設演習の火蓋

(假型) 三海上は考慮を要せず に一般顕されたる飛行期・中隊は明十一十四月以後齊文飛行期・中隊は明十一十四月以後齊文飛行期・中隊は明十二十二十四月

日朝それかく宿敷地を出郷、午後、そなへたが、編赤部には卅七旅跡に宿敷した獨立第〇〇帥敞は十三十村川右屋に第三陣を布いてこれに 日織南以南朱乙にいたる各地一に第一線を布き鐵城野陰山及ひ活 に海岸水南河編赤部野学里の設地た北軍段談師際に對して縄東郊外

域から羅赤部を越えて遊城の

事ら臨北川の對岸の

観週所長の『ラギオ・ゾンデに証の『魘牝の水産業に聞いて』 関係 兄商々業美

日間一三中井十四日から六

株式會加入でする。

診察 十三時半マデ及ビタ到

昭和

京城黃電町入口 日本生暗裏

申は超過に

皮膚泌尿花柳病

**伊州原** 

醫學博士渡邊普

## **仰展開かる**

を開催する、一年生かヤラリーに第二回商業

神宮奉賛競技 五日日

質能ぼあぐらん

能結本局 (3 円二八九四番

※ 京日案内

人口型は 一層御愛顧の程偏に願上ます こ改善も愈々相整ひ從來通り開 して誠に相濟みませんでした

知

b

빤

(主) 野部 (主)金炳和"一金州和"一

で病

**强作消殺港** か用炎菌透

告に殴り特に諸国にて規載する住所の事任就機関とは一回毎に五十段階名は一回毎に五十五十段階名は一回毎に五十

下子是耶 四治时人口 話例以西級資

會

◇ア式蹴球

治先生創製

鐵棚に分類することは大京

名、蘇聯六十名、土耳古五十三名 め、崩闘國自八十七名がこれに次 七千八百八十五名が賦然首位を占

五十七名である

口縣人多く

外國は支那人

**俳國三十一名、獨國州名其他** 

一般進决勝

(21) 2平質

出した。年間温泉事業の大衆化を測所長が非年来より積極的に動き

金人帝軍者は阻略計算

+

器應用

接式吸愈液

代 「鼻の治尿と頭臘男供法」のまを一人一路の治尿と頭臘男供法」のまを一人一部知無料原呈す。希望者は左 は唇葉所へ申込め、

特分型 2000 平 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 - 2000 

京城野次門近四、京城野次門近四、京城野次門近四、京城野次門近四、京城野次門近四、京城タイビ「高泉」を

ルタイピスト 別述四階層ピル内 別述四階層ピル内 北文科、近夜共 北文科、近夜共

**夏** 技師 美級集

藥 呀 你你说你

(超前旗4——2 (李丰路

## 養祭に集録されてありますか 僧に必要科目は悉く本講 僧に必要科目は悉く本講 のでは、設計に施工に監 のでは、設計に施工に監 建築技術者の爲に

ら將來の發展を企する為に を表示を書談。 一世の落伍をなるでも後、 一世の落伍をなるでも後、 一世の落伍をなるでも後、 一世の落伍をなるでも後、 一世の落伍をなるでも後、 一世の落伍をなるでも後、 一世の第位を表になっても、 一世の第位を表になっても、 一世の第位を表になっても、 一世の第位を表しなっている。 一世のまたなっている。 一世のもの。 一世のもの。 一世のもの。 一世のもの。 一世のもの。 一世の。 一世の。

特別全人

京城旭町一丁目

女店員採用

每日八十二世祭大网の年本る14117で宮神鮮明日七十多来 **仕奉樂神宮神鮮**朝 子ミス上門 チェチ旧群――もた集解るす住権を発長人に曲翼など人、完命師師的動物を発展 社協神師所らかは場別後年日三十か温味のとなんさ子花様土 子ミト水高、ヨミ川小、コヤア集制 の他定に基立破策を駆けてこの

順に戯所すべく場路せる順軍精

船車乘換もスピードも便利さる

総一般を随時配動し、州、州一兩

して逃走中を上地で30は九月ま

維質階階層別光方

始末におへぬ一味の悪事取締

が呼

東大門署の手に

時十分京城飛行堪看、第一回往初

| 換(ご) | 仮名| でチンピラに稼 ところを引揮へた、住所不定復言

が城裡里。固定期航空開業の傾倒は

一会の釈答とともに多数の出述へ一後一時担里飛行場に安着した。

(午後零時) 京間別培材 (午上等ラグビー登選) 京師智芸 (午割十時半) 一般活味 馬門學校決勝法原

回的脚带起

五錢玉を床に探す詩人

**並冰寺**安古冉 天

事務員採用

